

職層研修「係長研修」

【第1回】	【実施日】	7月21日(木)、8月4日(木)、18日(木) 各日 9:00~17:00
	【受講決定者数】	71名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題については理解が曖昧でしたが、知ることの必要性も含めて理解することができました。講師が人権問題に取り組むエキスパートの方で講義の内容に説得力がありました。 ・訴訟に備える観点から学ばせてもらいました。講義の中で、「日々の対応をきちんとすることが大事」という言葉が印象的に残っており、今後意識して業務にあたりたいと思います。 ・特別区の現状と課題について、今までの取り組みや、都区のあり方検討の状況など、特別区の職員として今後もどのように改正されていくか意識を持って関わっていかねばならないと思いました。 ・係長となる者にとって必要な知識を得ることができた貴重な研修だったと思いました。
【第2回】	【実施日】	10月6日(木)、12日(水)、20日(木) 各日 9:00~17:00
	【受講決定者数】	68名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題のことだけではなく、人権を常に意識して、しっかりと向き合っ対応していきたいと思いました。 ・訴訟になるまでの流れ、また、訴訟にならないようにするために、日頃から職場で情報共有、事実を記録しておくことが大切であることを学ぶことができました。 ・特別区の職員として知っておかなければならない行政の問題等が理解できました。 ・組織管理・業務管理における部下との様々なコミュニケーションの方法を沢山学ぶことができました。特にDESC法については、この研修で初めて聞きましたが、相手に対する丁寧な伝え方として、今後意識して活用していきたいと思いました。
【第3回】	【実施日】	11月15日(火)、25日(金)、12月7日(水) 各日 9:00~17:00
	【受講決定者数】	65名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・人権は個別具体的な守るべき事象に落とし込んで考えな

		<p>ければ意味をなさないことを再認識しました。今後、自身が対応する区民の人権とは何かを考えつつ職務にあたりたいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体でも訴訟が多く起こっていることを知りました。業務の中で、訴訟につながる可能性もあることを念頭に置いて、慎重に仕事していきたいと思います。 ・特別区の生い立ちと課題を認識することができました。財政制度などは予算、決算等の際に財源を認識するとともに今後の経過についてもしっかりと捉えておく必要があると切に感じました。 ・部下への目標設定やメンタル面の管理について、演習を数多く取り入れていただいたことで実践的に学ぶことができよかったです。特にMBQ（質問による管理）の手法は部下とのコミュニケーションにとっても有効なものであると思われるので、積極的に実践していきたいと思います。
【第4回】	【実施日】	12月9日（金）、20日（火）、27日（火） 各日 9：00～17：00
	【受講決定者数】	59名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘイトスピーチなど人権に関わる社会問題が気にかかっていたので、改めて問題の経緯や現状について学ぶことができ、理解を深めることができました。特に「ソーシャルインクルージョン」の理念は、担当業務においても意識して取り入れていきたいと思います。 ・訴訟については、職務にも非常に関係してくる内容であり、講師の方の説明も分かりやすく大変勉強になりました。他人事とはとらえず、今後の職務でも今回学んだことを意識して業務にあたりたいと思います。 ・特別区制度の概要と、制度を取り巻いている複雑な現状や課題について講義いただき、職員の一員として特別区のこれからを考えるきっかけになりました。 ・部下の自発性・自立を促すコミュニケーション手法とメンタルケアについて学びました。職場のパフォーマンスを高めるコミュニケーションとメンタルケアは表裏一体であり、重点的に取り組む必要性について、納得し理解することができました。